



ほふる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆

～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～

【今月の一冊】「甘え」の構造

土居 健郎 著 弘文堂

ホームページ URL <https://primecorporation.jp/>

発行日 2024年7月1日 Vol. 261

発行元 有限会社プライム・コーポレーション

代表取締役 渡 邊 敏 徳

〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地

TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

新紙幣

新紙幣の発行は日本銀行が2024年度の7月3日に、千円札、五千円札、一万円札の新札(新紙幣)を発行することが発表されています。国民がお金(紙幣や貨幣)を安心して使うために最も重要なのは、偽造されたお金が出回らないようにすることだと言われています。万が一、偽造されたお金が広く出回ると国民が手に取ったお金を信用できなくなったり、場合によっては被害を受けたりしてしまいます。そうしたことを防ぐため、紙幣についてはこれまでも概ね20年毎に改刷(紙幣の偽造防止技術やデザインを新しくすること)を行ってきました。

そうした中で財務省は、(1) 現在発行している紙幣は、2004年に発行を開始して以来20年近くが経過し、その間に民間の印刷技術が大幅な進歩を遂げていること、(2) 目の不自由な方や外国人のためにも、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた紙幣デザインが世界の潮流であることなどを踏まえ、より偽造しにくく誰にとっても使いやすい紙幣となるようにするため、一万円券、五千円券及び千円券の3券種の改刷を実施することと説明しています。

新札が発行されると、自動販売機、ATM、セルフレジなどを保有する業者は新札に対応するように、新しい機種への入れ替えやシステムの改修を迫られます。これは、当該業界にとっては大きな負担となる一方で新札発行が生み出す経済効果でもあります。新札発行への対応コストは約1兆6,300億円とみられ、年間の名目GDPを+0.27%程度押し上げる経済効果となる計算です。

新札発行がもたらす副次的効果として、「タンス預金」を減らすことが議論されたりしますが、実際にはその効果はあまり大きくないと感じます。

その他にも相続税の支払いを避けるために保有されているタンス預金をあぶりだすことが新札発行の狙いの一つだと噂されますが、これらの真相も本当のところはわからない状況です。キャッシュレス化が進む時代の流れの中で、広く流通する最後の紙幣となるかもしれませんね。

また、あまり話題にはなりません五百円貨幣についても、2000年に発行を開始して以来約20年が経過することから、今般、紙幣の改刷に合わせてより偽造しにくくするための改鋳(貨幣の素材や偽造防止技術等を新しくすること)が実施されるのでこちらも注目です。

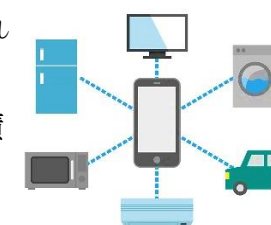
検索で正解？

今の私たちは、生活の中でインターネットを通じて人と人をつなげるサービス SNS をたくさん活用しています。代表的なものは、Facebook、Instagram、X などです。

昨今の若者に限らないとは思いますが、特にZ世代(1990年代後半～2010年代ごろに生まれた世代)は、まさにデジタルネイティブ、SNS ネイティブのはしりです。分からないことはすぐに Google で検索します。飲食店や映画も本もまず口コミをチェックして「ハズレがなさそうなもの」を選ぶのが当たり前になっています。そして、毎日の生活の中でコストパフォーマンスやタイムパフォーマンスといった効率意識がとて強く、間違った選択をして時間やお金を無駄にすることを極端に嫌います。

しかし、社会の中には正解や不正解などの白黒がはっきり分かれていることの方が少ないのが現実です。時と場合、立場によって見え方も変われば正解も変わります。インターネットの集合知はとても便利なもので、これまで知らなかったことを瞬時にたくさん教えてくれます。

今は社会の変化の流れがとても速く、そのことに対応していかなければならない時代ですが、こんな時代だからこそ大切な経験を少しずつ積み重ねていくことがとても大切だと感じます。正解は経験や体験を積み重ねていくしかなく、Google 検索で正解は分からないと思います。



【座右の銘にしたい名言】



顧客はより幸せでよりよい人生を夢見ている。製品を売ろうとするのではなく、彼らの人生を豊かにするのだ。

スティーブ・ジョブズ (アメリカの実業家、アップル創業者)